

1

Vol.62
No.1 2016

癌の臨床

JAPANESE JOURNAL OF CANCER CLINICS

CONTENTS

◆特集

緩和医療における 外科治療の意義

(第115回日本外科学会パネルディスカッションより)

緩和医療における外科医の役割

片山寛次・他 1(1)

切除不能遠隔転移を伴う大腸癌に対する姑息的原発巣切除の意義：
propensity score matching 法による多施設データの解析

石原聡一郎・他 11(11)

外科医は根治不能患者の QOL 改善へどこまで貢献できるのか
—癌性イレウス・瘻孔に対する症状緩和手術—

前田好章・他 19(19)

緩和医療における KM-CART の意義

—癌性腹水に対する積極的症狀緩和とオーダーメイド癌治療への活用—

松崎圭祐・他 27(27)

編集委員

根本則道 大倉康男
山下 孝 古瀬純司
相羽恵介
片井 均
山本順司

編集顧問

下山正徳 泉雄 勝 松谷章司
望月幸夫 小山靖夫 島田安博
阿部令彦 丸山孝士
今村幸雄 小川一誠
田中 昇 坂元吾偉

First published in 1954. Whole Number 747

書 評

『患者安全 PATIENTSAFETY』 Charles Vincent 著

36(36)

がんに関する行政の動き

牧 潤二 37(37)

Global Oncology News

43(43)